

# 第8次宮崎県医療計画(R6～11)

## 指標の進捗状況と 令和6年度の主な取組内容

令和7年12月  
宮崎県福祉保健部医療政策課

# 1 がん ～ 指標の進捗状況 ～

## 1 がん

	指標		基準値 (R4年)	R6 (R5年)	R7 (R6年)	R8 (R7年)	R9 (R8年)	R10 (R9年)	R11 (R10年)	目標値	評価	全国値 (R4年)
(1)	がん検診受診率	胃がん 男性	56.5%	—						それぞれ 60%以上	—	53.7%
		胃がん 女性	42.3%	—							—	43.5%
		大腸がん 男性	49.0%	—							—	49.1%
		大腸がん 女性	40.4%	—							—	42.8%
		肺がん 男性	54.5%	—							—	53.2%
		肺がん 女性	48.0%	—							—	46.4%
		乳がん	46.2%	—							—	47.4%
		子宮頸がん	42.7%	—							—	43.6%
(2)	指標		基準値 (R1年)	R6 (R3年)	R7 (R4年)	R8 (R5年)	R9 (R6年)	R10 (R7年)	R11 (R8年)	目標値	評価	全国値 (R3年)
	年齢調整罹患率 (人口10万人当たり)		356.0	344.2						全国平均 以下	A	379.0
(3)	指標		基準値 (R4年)	R6 (R5年)	R7 (R6年)	R8 (R7年)	R9 (R8年)	R10 (R9年)	R11 (R10年)	目標値	評価	全国値 (R5年)
	75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万人当たり)		74.6	71.5						全国平均 以下	B	65.7
(4)	指標		基準値 (R2年)	R6 (R5年)	R7 (R6年)	R8 (R7年)	R9 (R8年)	R10 (R9年)	R11 (R10年)	目標値	評価	全国値
	緩和ケアチームのある病院数		13施設	9施設						15施設	D	—
(5)	指標		基準値 (R3年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値
	地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等実施件数(人口10万人当たり)	県北	38.6件	42.4件						100件	B	—
		県央	575.2件	659.6件						900件	B	—
		県南	0件	0件						100件	C	—
		県西	31.7件	30.6件						100件	D	—
(6)	指標		基準値 (R4年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値 (R5年)
	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合		2.9%	10.2%						全国平均 以上	B	12.4%

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 —：評価不可

# 1 がん ～ 令和6年度の主な取組内容 ～

## 予防・早期発見、がん医療提供体制の整備、がんとの共生、基盤の整備

【主な担当課】 健康増進課 薬務感染症対策課

### (1) 生活習慣病予防の普及啓発

- ・受動喫煙防止啓発チラシ・グッズの作成及び配布  
チラシ10,000枚、グッズ（2種類）各1,000個
- ・「適塩」に関する食品スーパー等での普及啓発 307か所
- ・Instagramを活用した啓発  
表示回数 喫煙26.7万回、食生活27.6万回、運動29万回

### (2) 子宮頸がん予防ワクチン接種の普及啓発

- ・テレビCM 111回、シネアド(映画広告) 約6ヶ月間
- ・啓発リーフレット15,000部、ポスター600枚、研修会7回

### (3) がん検診の啓発

- ・啓発ポスター作成 300枚
- ・SNS動画作成 表示回数20.7万回

### (4) がん検診の精度管理の向上

- ・医療関係者向けがん検診診断技術維持向上研修会 14回

### (5) 拠点病院の機能強化

- ・専門的ながん医療の提供に必要な施設・設備整備の補助
- ・県立宮崎病院における診療機能強化の補助  
IMRT(強度変調放射線治療)の導入  
手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)の機能強化

### (6) 緩和ケアの充実

- ・拠点病院等による緩和ケア研修会 修了者59人
- ・緩和ケアチーム研修会 1回(66人)

### (7) 相談体制の充実

- ・がん相談支援センターにおける相談件数(R6年) 10,865件
- ・がんサロン「ふらっとカフェ」の開催 13回

### (8) 学校教育におけるがん教育の推進

- ・「宮崎県がん教育外部講師リスト」を活用して  
がん教育を実施した学校 延べ8校

など



## 2 脳卒中 ～ 指標の進捗状況 ～

### 2 脳卒中

	指標	基準値 (R1年)	R6 (R4年)	R7 (R5年)	R8 (R6年)	R9 (R7年)	R10 (R8年)	R11 (R9年)	目標値	評価	全国値 (R4年)
(1)	健康寿命	男性 73.30 女性 76.71	72.29 76.13						延伸	C C	男性 72.57 女性 75.45
	指標	基準値 (R2年)	R6 (R3年)	R7 (R4年)	R8 (R5年)	R9 (R6年)	R10 (R7年)	R11 (R8年)	目標値	評価	全国値 (R3年)
(2)	脳血管疾患による 年齢調整死亡率 (人口10万人対)	男性 105.2 女性 61.4	— 5年おきに実施 (R10.12月頃公表)						全国平均 以下	— —	男性 — 女性 —
	指標	基準値 (R2年)	R6 (R5年)	R7 (R4年)	R8 (R5年)	R9 (R6年)	R10 (R7年)	R11 (R8年)	目標値	評価	全国値 (R5年)
(3)	脳血管疾患受療率（入院） (人口10万人対)	112	104						減少	B	88
	指標	基準値 (R3年)	R6 (R4年)	R7 (R5年)	R8 (R6年)	R9 (R7年)	R10 (R8年)	R11 (R9年)	目標値	評価	全国値 (R4年)
(4)	救急要請（覚知）から医療機関への 収容までに要した平均時間	43.1分	46.0分						減少	D	47.2分
	指標	基準値 (R5年)	R6 (R6年)	R7 (R7年)	R8 (R8年)	R9 (R9年)	R10 (R10年)	R11 (R11年)	目標値	評価	全国値 (R6年)
(5)	rt-PAによる血栓溶解療法の 実施可能な医療機関数 (人口10万人対)	0.9	0.9						維持	C	0.9
	指標	基準値 (R5年)	R6 (R6年)	R7 (R7年)	R8 (R8年)	R9 (R9年)	R10 (R10年)	R11 (R11年)	目標値	評価	全国値 (R6年)
(6)	脳血管疾患等リハビリテーションが 実施可能な医療機関数 (人口10万人対)	12.2	12						維持	D	6.5
	指標	基準値 (R3年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値 (R5年度)
(7)	特定健康診査実施率	51.5%	54.7%						70.0%	B	59.9%
	指標	基準値 (R3年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値 (R5年度)
(8)	特定保健指導実施率	26.5%	30.8%						45.0%	B	27.6%

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 —：評価不可

## 2 脳卒中 ～ 令和6年度の主な取組内容 ～

### 発症予防、医療提供体制の充実、在宅療養が可能な体制づくり

【主な担当課】

健康増進課

国民健康保険課

医療政策課

#### (1) 生活習慣病予防の普及啓発

- ・循環器病県民公開講座 1回(154人)
- ・ベジ活応援店新規登録 14店
- ・適塩応援企業等登録 25企業・団体
- ・Instagramを活用した啓発  
表示回数 食生活27.6万回、運動29万回

#### (2) 特定健診の受診勧奨

- ・特定健診実施率向上に向けた被保険者への勧奨  
新聞広告掲載：計12回掲載  
SNS動画広告：全SNS(Instagram, FaceBook, Youtube 等)  
合計で約313万回表示、約136万人視聴
- ・特定健診実施率向上等の啓発を行う県保険者協議会への補助



特定健診実施率向上に向けたSNS動画広告

#### (3) 合併症予防に係るかかりつけ歯科医と連携した口腔ケア

- ・地域医療支援病院等における医科歯科連携推進事業  
相談件数 354件、研修会 2回(103人)

#### (4) 医療提供体制の整備

- ・都城市郡医師会「心臓・脳血管・透析センター」整備に対する補助
- ・救急医療体制の機能強化に必要な設備整備補助  
画像解析装置、超音波画像診断装置等 4施設

など



### 3 心筋梗塞等の心血管疾患 ～ 指標の進捗状況 ～

3 心筋梗塞等の心血管疾患												
(1)	指標		基準値 (R1年)	R6 (R4年)	R7 (R5年)	R8 (R6年)	R9 (R7年)	R10 (R8年)	R11 (R9年)	目標値	評価	全国値 (R4年)
	健康寿命	男性	73.30	72.29						延伸	C	男性 72.57
		女性	76.71	76.13							C	女性 75.45
(2)	指標		基準値 (R2年)	R6 (R3年)	R7 (R4年)	R8 (R5年)	R9 (R6年)	R10 (R7年)	R11 (R8年)	目標値	評価	全国値 (R3年)
	心血管疾患による 年齢調整死亡率 (人口10万人対)	男性	202.7	— 5年おきに実施 (R10. 12月頃公表)						全国平均 以下	—	男性 —
		女性	119.8								—	女性 —
(3)	指標		基準値 (R2年)	R6 (R5年)	R7 (R4年)	R8 (R5年)	R9 (R6年)	R10 (R7年)	R11 (R8年)	目標値	評価	全国値 (R5年)
	虚血性心疾患受療率（入院） (人口10万人対)		9	12						減少	D	8
(4)	指標		基準値 (R3年)	R6 (R4年)	R7 (R5年)	R8 (R6年)	R9 (R7年)	R10 (R8年)	R11 (R9年)	目標値	評価	全国値 (R4年)
	救急要請（覚知）から医療機関への 収容までに要した平均時間		43.1分	46.0分						減少	D	47.2分
(5)	指標		基準値 (R5年)	R6 (R6年)	R7 (R7年)	R8 (R8年)	R9 (R9年)	R10 (R10年)	R11 (R11年)	目標値	評価	全国値 (R6年)
	心血管疾患等リハビリテーションが 実施可能な医療機関数（人口10万人 対）		1.4	1.6						増加	B	1.4
(6)	指標		基準値 (R3年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値 (R5年度)
	特定健康診査実施率		51.5%	54.7%						70.0%	B	59.9%
(7)	指標		基準値 (R3年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値 (R5年度)
	特定保健指導実施率		26.5%	30.8%						45.0%	B	27.6%

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 —：評価不可



### 3 心筋梗塞等の心血管疾患 ～ 令和6年度の主な取組内容 ～

#### 発症予防、救急搬送、医療提供体制の充実、在宅療養が可能な体制づくり

【主な担当課】 健康増進課 国民健康保険課 医療政策課

##### (1) 生活習慣病予防の普及啓発【再掲】

- ・循環器病県民公開講座 1回(154人)
- ・ベジ活応援店新規登録 14店
- ・適塩応援企業等登録 25企業・団体
- ・インスタグラムを活用した啓発  
表示回数 食生活27.6万回、運動29万回

##### (2) 特定健診の受診勧奨【再掲】

- ・特定健診実施率向上に向けた被保険者への勧奨  
新聞広告掲載：計12回掲載  
SNS動画広告：全SNS(Instagram, FaceBook, Youtube 等)  
合計で約313万回表示、約136万人視聴
- ・特定健診実施率向上等の啓発を行う県保険者協議会への補助

##### (3) ドクターヘリの運航支援

- ・宮崎大学医学部附属病院に対する運航経費等補助  
ドクターヘリ 要請件数 471件、出動件数 399件

##### (4) 合併症予防に係るかかりつけ歯科医と連携した口腔ケア【再掲】

- ・地域医療支援病院等における医科歯科連携推進事業  
相談件数 354件、研修会 2回(103人)

##### (5) 医療提供体制の整備【再掲】

- ・都城市郡医師会「心臓・脳血管・透析センター」整備に対する補助
- ・救急医療体制の機能強化に必要な設備整備補助  
画像解析装置、超音波画像診断装置等 4施設

##### (6) 心不全療養指導士・心臓リハビリテーション指導士の育成

- ・心不全療養指導士受験費用等補助 1名
- ・心臓リハビリテーション指導士受験費用等補助 2名

など



# 4 糖尿病 ～ 指標の進捗状況 ～

4 糖尿病											
(1)	指標	基準値 (R3年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値 (R5年度)
	特定健康診査実施率	51.5%	54.7%						70.0%	B	59.9%
(2)	指標	基準値 (R3年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値 (R5年度)
	特定保健指導実施率	26.5%	30.8%						45.0%	B	27.6%
(3)	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値
	糖尿病性腎症による 年間新規透析導入患者数	167人	156人						144人	B	—

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 —：評価不可



## 4 糖尿病 ～ 令和6年度の取組内容 ～

### 発症予防・重症化予防、医療提供体制の確保

【主な担当課】

健康増進課

国民健康保険課

#### (1) 生活習慣病予防の普及啓発【再掲】

- ・ ベジ活応援店新規登録 14店
- ・ 適塩応援企業等登録 25企業・団体
- ・ インスタグラムを活用した啓発  
表示回数 食生活27.6万回、運動29万回

#### (2) 特定健診の受診勧奨【再掲】

- ・ 特定健診実施率向上に向けた被保険者への勧奨  
新聞広告掲載：計12回掲載  
SNS動画広告：全SNS(Instagram, FaceBook, Youtube 等)  
合計で約313万回表示、約136万人視聴
- ・ 特定健診実施率向上等の啓発を行う県保険者協議会への補助

#### (3) 糖尿病に対する知識・理解の普及啓発

- ・ C K D県民公開講座 1回(163人)

#### (4) かかりつけ歯科医と連携した口腔ケア【再掲】

- ・ 地域医療支援病院等における医科歯科連携推進事業  
相談件数 354件、研修会 2回(103人)

#### (5) 特定保健指導の実施率向上に向けた取組

- ・ 健診・保健指導従事者初任者研修会 1回(36人)
- ・ 健診・保健指導従事者経験者研修会 1回(121人)

など



## 5 精神疾患 ～ 指標の進捗状況 ～

### 5 精神疾患

	指標	基準値 (R1年度)	R6 (R3年度)	R7 (R4年度)	R8 (R5年度)	R9 (R6年度)	R10 (R7年度)	R11 (R8年度)	目標値	評価	全国値 (R3年度)
(1)	精神病床における 入院後3ヶ月時点の退院率	57.1%	59.5%						68.9% 以上	B	64.6%
	指標	基準値 (R1年度)	R6 (R3年度)	R7 (R4年度)	R8 (R5年度)	R9 (R6年度)	R10 (R7年度)	R11 (R8年度)	目標値	評価	全国値 (R3年)
(2)	精神病床における 入院後6ヶ月時点の退院率	74.3%	74.9%						84.5% 以上	B	80.1%
	指標	基準値 (R1年度)	R6 (R3年度)	R7 (R4年度)	R8 (R5年度)	R9 (R6年度)	R10 (R7年度)	R11 (R8年度)	目標値	評価	全国値 (R3年)
(3)	精神病床における 入院後12ヶ月時点の退院率	82.8%	83.5%						91.0% 以上	B	87.9%
	指標	基準値 (R1年度)	R6 (R3年度)	R7 (R4年度)	R8 (R5年度)	R9 (R6年度)	R10 (R7年度)	R11 (R8年度)	目標値	評価	全国値 (R3年度)
(4)	退院後1年以内の 地域における平均生活日数	320.1日	315.9日						325.3日 以上	D	321.9日
	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
(5)	精神病床における1年以上の 入院患者数(65歳以上)	2,622人	2,367人						1,664人	B	—
	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
(6)	精神病床における1年以上の 入院患者数(65歳未満)	799人	734人						625人	B	—

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 —：評価不可

## 5 精神疾患 ～ 令和6年度の主な取組 ～

### 早期治療、地域移行支援、認知症・発達障がい等への対応、災害精神医療の充実

【主な担当課】 障がい福祉課 医療・介護連携推進室

#### (1) 早期受診・早期治療の促進

- ・ ころの電話相談利用件数 4,475件

#### (2) 地域移行・地域定着の支援

- ・ 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置 9回
- ・ 地域移行支援者研修 1回(参加85人)
- ・ ピアサポートの活用 33回(活用者数(実人数)70人)

#### (3) 認知症に係る医療提供体制の充実

- ・ 認知症対応力向上研修会 6回
- ・ 若年性認知症相談窓口 相談件数 89件
- ・ みやざきオレンジドクター登録者 316人(R5:317人)

#### (4) 発達障がいの診療を行う医師等の養成

- ・ かかりつけ医対応力向上研修 2回(参加者178人)

#### (5) 精神科救急医療システムの整備

- ・ 相談(電話・来院) 382件
- ・ 外来受診 153人
- ・ 救急医療システム連絡調整委員会 2回

#### (6) 災害派遣精神医療チーム(DPAT)体制の整備

- ・ DPAT研修会 1回(34人)
- ・ DPAT先遣隊を組織できる医療機関 3機関(R5:3機関)

など



DPAT構成員研修会  
〈対象者〉精神科病院・保健所・市町村職員

# 6 救急医療 ～ 指標の進捗状況 ～

## 6 救急医療

(1)	指標	基準値 (R1年)	R6 (R5年)	R7 (R6年)	R8 (R7年)	R9 (R8年)	R10 (R9年)	R11 (R10年)	目標値	評価	全国値
	救急搬送患者数	42,908人	46,553人						41,362人以下	D	6,641,420人
(2)	指標	基準値 (R1年)	R6 (R5年)	R7 (R6年)	R8 (R7年)	R9 (R8年)	R10 (R9年)	R11 (R10年)	目標値	評価	全国値 (R5年)
	軽症者の救急出動の割合	39.0%	40.2%						38.1%以下	D	48.5%
(3)	指標	基準値 (R1年)	R6 (R5年)	R7 (R6年)	R8 (R7年)	R9 (R8年)	R10 (R9年)	R11 (R10年)	目標値	評価	全国値 (R5年)
	救急要請から医療機関への収容までに要した平均時間	39.5分	45.0分						38.7分以下	D	45.6分
(4)	指標	基準値 (R1年)	R6 (R5年)	R7 (R6年)	R8 (R7年)	R9 (R8年)	R10 (R9年)	R11 (R10年)	目標値	評価	全国値 (R5年)
	救急車で搬送する病院の決定に要する時間が要請開始から30分以上である件数の全搬送件数に占める割合	5.5%	12.3%						4.5%以下	D	10.5%
(5)	指標	基準値 (R1年)	R6 (R5年)	R7 (R6年)	R8 (R7年)	R9 (R8年)	R10 (R9年)	R11 (R10年)	目標値	評価	全国値 (R5年)
	救急車で搬送する病院の決定に要する照会回数が4回以上である件数の全搬送件数に占める割合	4.2%	9.1%						3.6%以下	D	6.3%
(6)	指標	基準値 (R2年)	R6 (R6年)	R7 (R7年)	R8 (R8年)	R9 (R9年)	R10 (R10年)	R11 (R11年)	目標値	評価	全国値 (R5年)
	救急科専門医数 (人口1万人対)	0.36	0.46						0.38以上	A	0.49
(7)	指標	基準値 (R3年)	R6 (R5年)	R7 (R6年)	R8 (R7年)	R9 (R8年)	R10 (R9年)	R11 (R10年)	目標値	評価	全国値 (R5年)
	心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後生存率	11.7%	9.8%						11.7%以上	D	11.8%
(8)	指標	基準値 (R3年)	R6 (R5年)	R7 (R6年)	R8 (R7年)	R9 (R8年)	R10 (R9年)	R11 (R10年)	目標値	評価	全国値 (R5年)
	心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後社会復帰率	6.1%	7.3%						6.9%以上	A	7.4%
(9)	指標	基準値 (R5年)	R6 (R6年)	R7 (R7年)	R8 (R8年)	R9 (R9年)	R10 (R10年)	R11 (R11年)	目標値	評価	全国値
	回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関数	17施設	16施設						17施設以上	D	—

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 —：評価不可

## 6 救急医療 ～ 令和6年度の主な取組 ～

### 県民の救急医療への理解・意識の向上、円滑な救急搬送、救急医療体制の確保

【主な担当課】 医療政策課

#### (1) 子ども救急医療電話相談体制(#8000)の確保

- ・相談件数 7,890件

#### (2) 子どもの急病等に関する普及啓発

- ・保護者向け小児救急医療研修会 8施設(282人)

#### (3) 救急医療利用適正化の推進

- ・「#8000」啓発動画の放映  
YouTube広告 延べ1,460,406回  
映画館 412回(観客動員数17,652人)
- ・救急医療利用の普及啓発を実施する市町村への支援 7市

#### (4) ドクターヘリの運航支援【再掲】

- ・宮崎大学医学部附属病院に対する運航経費等補助  
ドクターヘリ 要請件数 471件、出動件数 399件

#### (5) 救急医療体制の確保

- ・第2次・3次救急医療体制の確保支援
- ・救急医療体制の機能強化に必要な設備整備補助【再掲】  
画像解析装置、超音波画像診断装置等 4施設
- ・救急医療人材確保支援  
プロモーション動画作成、医学生との交流の実施等

など



# 7 へき地医療 ～ 指標の進捗状況 ～

## 7 へき地医療

(1)	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	中山間地域における 常勤医師充足率	71.1%	69.6%						88.6%	D	—
(2)	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	へき地医療拠点病院から へき地への代診医派遣回数	4回	29回						12回以上	A	—
(3)	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	へき地公立医療機関等で オンライン診療を実施できる 医療機関数	0	4						17	B	—

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 —：評価不可



## 7 へき地医療 ～ 令和6年度の主な取組 ～

### へき地で勤務する医師の確保、へき地医療提供体制の維持

【主な担当課】 医療政策課

#### (1) へき地医療に携わる医師の育成・確保

- ・宮崎大学「地域医療・総合診療医学講座」運営支援  
医学部学生に対する地域医療の教育と啓発  
総合診療医の育成
- ・宮崎県地域医療支援機構の運営  
専門医取得等支援 175人
- ・医師修学資金貸与 新規貸与者42人(R5:44人)

#### (2) 看護師の育成・確保

- ・特定行為研修支援  
指定研修機関等に対する運営費支援 2施設  
研修派遣費補助 8件
- ・都市部の医療機関との相互人材交流研修 3人

#### (3) へき地医療体制の確保

- ・へき地医療拠点病院に対する運営費補助
- ・へき地診療所運営費 4施設(延岡市島浦診療所ほか3施設)
- ・無医地区で巡回診療を行う医療機関への支援  
串間市築島地区外2地区
- ・無歯科医地区での巡回診療  
延岡市島浦地区
- ・へき地医療拠点病院による代診医派遣 29回

#### (4) 中山間地域における医療デジタル化

- ・オンライン診療の実証 1か所(五ヶ瀬町国民健康保険病院)
- ・医療デジタル化推進検討会 2回 など



## 8 小児医療 ～ 指標の進捗状況 ～

### 8 小児医療

(1)	指標	基準値	R6	R7	R8	R9	R10	R11	目標値	評価	全国値 (R6年度)
		(R4年度)	(R6年度)	(R7年度)	(R8年度)	(R9年度)	(R10年度)	(R11年度)			
	子ども救急医療電話相談の応答率	51.4%	70.5%						84.0%	B	—
(2)	指標	基準値	R6	R7	R8	R9	R10	R11	目標値	評価	全国値
		(R3年度)	(R5年度)	(R6年度)	(R7年度)	(R8年度)	(R9年度)	(R10年度)			
	小児人口当たり時間外外来受診回数（0～15歳未満・レセプト件数）	45,255件	65,865件						45,255件以下	D	—
(3)	指標	基準値	R6	R7	R8	R9	R10	R11	目標値	評価	全国値
		(R4年度)	(R6年度)	(R7年度)	(R8年度)	(R9年度)	(R10年度)	(R11年度)			
	医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置数	10か所	19か所						27か所	B	—
(4)	指標	基準値	R6	R7	R8	R9	R10	R11	目標値	評価	全国値 (R6年度)
		(R4年度)	(R6年度)	(R7年度)	(R8年度)	(R9年度)	(R10年度)	(R11年度)			
	小児死亡率 (小児人口千人当たり)	0.21	0.18						0.18以下	A	0.19

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 —：評価不可

## 8 小児医療 ～ 令和6年度の主な取組 ～

### 急病時の相談体制の充実、小児科医の確保・養成、医療的ケア児に対する支援

【主な担当課】 医療政策課 障がい福祉課

#### (1) 子ども救急医療電話相談体制(#8000)の確保【再掲】

- ・相談件数 7,890件
- ・「#8000」啓発動画の放映  
YouTube広告 延べ1,460,406回  
映画館 412回(観客動員数17,652人)

#### (2) 子どもの急病等に関する普及啓発【再掲】

- ・保護者向け小児救急医療研修会 8施設(282人)

#### (3) 小児科医の確保・養成

- ・小児科医を目指す専攻医に対する研修資金の貸与 3人
- ・小児科専門医症例研究会 5回
- ・女性医師等に対する就労環境整備・復職支援  
相談窓口の設置  
相談件数 32件  
ワークライフバランス啓発セミナー  
管理者向け 参加者30名、医学生向け 参加者44名

#### (4) 小児医療提供体制の確保

- ・救急医療拠点病院の運営支援 1施設(都城市郡医師会病院)

#### (6) 医療的ケア児等の在宅支援体制の強化

- ・受入に必要な施設・設備整備費の補助 10事業所
- ・医療的ケア児支援センター相談件数 96件
- ・コーディネーター養成研修 45人

#### (7) 医療的ケア児等の短期入所の拡大促進

- ・短期入所の充実に取り組む市町村への補助 5市
- ・市町村を通じて助成した事業所 12事業所



など

# 9 周産期医療 ～ 指標の進捗状況 ～

## 9 周産期医療

(1)	指標		基準値 (R5年)	R6 (R6年)	R7 (R7年)	R8 (R8年)	R9 (R9年)	R10 (R10年)	R11 (R11年)	目標値	評価	全国値
	総合周産期母子医療センター											
		NICU病床数	9床	9床						9床	A	—
		GCU病床数	12床	12床						12床	A	—
		MFICU病床数	3床	3床						3床	A	—
(2)	指標		基準値 (R5年)	R6 (R6年)	R7 (R7年)	R8 (R8年)	R9 (R9年)	R10 (R10年)	R11 (R11年)	目標値	評価	全国値
	地域周産期母子医療センター											
		NICU病床数	34床	34床						34床	A	—
		GCU病床数	40床	40床						40床	A	—
(3)	指標		基準値 (R5年)	R6 (R6年)	R7 (R7年)	R8 (R8年)	R9 (R9年)	R10 (R10年)	R11 (R11年)	目標値	評価	全国値
	災害時小児周産期リエゾン委嘱者数											
			26人	30						42人	B	—
(4)	指標		基準値 (R5年)	R6 (R6年)	R7 (R7年)	R8 (R8年)	R9 (R9年)	R10 (R10年)	R11 (R11年)	目標値	評価	全国値
	妊産婦の居住する市町村の母子保健事業について、妊産婦に個別に情報提供を行っている周産期母子医療センター数											
			6	7						7	A	—

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 —：評価不可

## 9 周産期医療 ～ 令和6年度の主な取組 ～

### 地域分散型の周産期医療体制の維持・充実、産婦人科医等の育成・確保

【主な担当課】

健康増進課

医療政策課

#### (1) 周産期医療体制の維持・充実

- ・周産期母子医療センターの運営費補助 7施設
- ・周産期医療協議会 1回
- ・地域周産期保健医療体制づくり連絡会 4回
- ・周産期医療ネットワーク運営支援 15施設
- ・災害時小児周産期リエゾン養成研修会 4回(5人)

#### (2) 妊産婦健診の通院支援

- ・妊産婦の通院支援を行う市町村への補助 8市町村

#### (3) 産科医等の育成・確保

- ・産科医を目指す専攻医に対する研修資金の貸与 5人
- ・周産期症例検討会 2回
- ・分娩手当補助 18施設
- ・県立看護大学の助産師実習体制の整備補助 など



10 災害医療											
(1)	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	DMA Tチーム数	33チーム	35チーム						40チーム	B	－
(2)	指標	基準値 (R5年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	災害医療コーディネーター数	32名	32名						32名	A	－
(3)	指標	基準値 (H31.2月)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値 (R6年度)
	災害拠点病院以外の病院における BCPの策定率	17.3%	未公表						100.0%	－	－
(4)	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値 (R5年度)
	EMISの操作を含む研修・訓練を実施している病院の割合	83.3%	75.0%						100.0%	D	63.5%
(5)	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値 (R6年度)
	病院の耐震化率	87.3%	未公表						100.0%	－	－
(6)	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値 (R6年度)
	浸水想定区域、津波災害警戒区域内の いずれかに該当する病院のうち、対策 実施済みの割合	57.5%	未公表						100.0%	－	－

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 ー：評価不可



## 災害医療体制の確保

### 【主な担当課】

医療政策課

健康増進課

障がい福祉課

医療・介護連携推進室

### (1) 災害医療を担う人材の確保・育成

- ・大規模地震時医療活動訓練 1回(4チーム)
- ・県総合防災訓練 1回(13災害拠点病院)
- ・災害医療コーディネーター研修会 1回(67人)
- ・都道府県災害医療コーディネーター研修派遣 3人
- ・日本DMAT隊員養成研修受講 3回(12人)
- ・DPAT研修会 1回(34人)【再掲】
- ・災害時小児周産期リエゾン養成研修会 4回(5人)【再掲】



### (2) 災害医療提供体制の整備

- ・延岡共立病院を新たに災害拠点病院に指定
- ・災害医療人材強化支援 12災害拠点病院
- ・スプリンクラー等整備補助 5施設

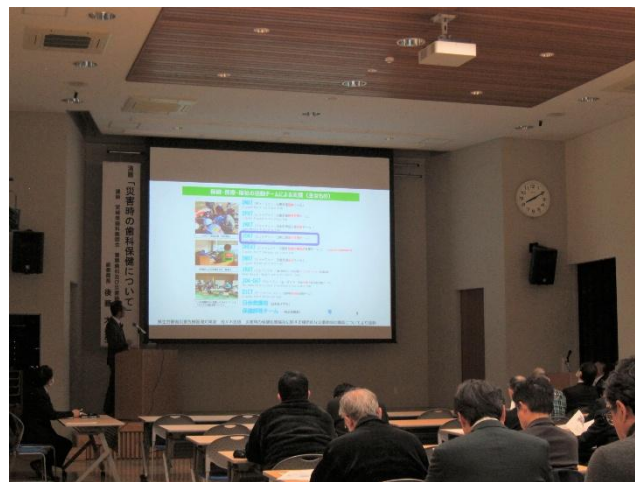
### (3) 災害時の口腔ケアの推進

- ・研修会 1回(40人)

### (4) 災害時のリハビリテーション機能の強化

- ・研修会 3回(121人)

など



11 新興感染症発生・まん延時における医療 ～ 指標の進捗状況 ～

11 新興感染症発生・まん延時における医療											
(1)	指標		R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	医療措置協定締結医療機関(入院)の確保病床数(感染症病床を含む)	流行初期	158床						146床	A	－
		流行初期以降	427床						449床	C	－
(2)	指標		R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	医療措置協定締結医療機関(発熱外来)の機関数	流行初期	32機関						34機関	C	－
		流行初期以降	403機関						447機関	C	－
(3)	指標		R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	医療措置協定締結医療機関(自宅療養者等への医療の提供)の機関数	医療機関数	223機関						233機関	C	－
		薬局数	376機関						299機関	A	－
		訪問看護事業所数	71機関						70機関	A	－
(4)	指標		R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	医療措置協定締結医療機関(後方支援)の機関数		103機関						98機関	A	－
(5)	指標		R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	医療措置協定締結医療機関(人材派遣)の確保人数	医師	17人						12人	A	－
		うち県外派遣可能な人数	8人						8人	A	－
		看護師	74人						48人	A	－
	うち県外派遣可能な人数	28人						30人	C	－	
(6)	指標		R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	医療措置協定に基づき个人防护具の備蓄を十分に行う(2ヶ月分以上个人防护具の備蓄を行う)医療機関数		74.0%						協定締結医療機関の8割以上の医療機関数	C	－
(7)	指標		R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
	患者受入に係る研修・訓練の実施数		59.2%						全協定締結医療機関が年1回以上実施	C	－

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 ー：評価不可

## 新興感染症発生への備え

【主な担当課】 薬務感染症対策課

### (1) 感染症対応に係る医療提供体制の確保

- ・宮崎県新型インフルエンザ等対策行動計画の変更
- ・感染症対策対策審議会及び感染症対策連携協議会の開催（審議会3回、協議会2回）
- ・入院対応医療機関への設備整備補助 2施設
- ・発熱外来対応医療機関への設備整備補助 17施設
- ・衛生環境研究所においてゲノム解析等を実施し、高度専門技術の習得、検査体制を確保
- ・抗インフルエンザ薬の購入・備蓄
- ・個人防護具の購入・備蓄（保健所用）

### (2) 感染症対応に関する人材の育成

- ・政府感染症危機管理対応訓練への参加 1回（副知事出席）
- ・市町村等感染症危機緊急連絡会議訓練 1回（市町村他）
- ・感染症危機管理訓練 1回  
（感染症指定医療機関、保健所、検疫等 40人）
- ・感染症危機管理研修会 1回（1,082人）
- ・保健所・医療機関等職員向け感染症危機対応研修会  
本課実施研修会 2回（103人）  
保健所実施研修会 44回（1,271人）
- ・IHEAT要員（保健師08等）に対する座学・実地研修  
本課実施研修会 1回（28人）、保健所実施研修会 8回（25人）

など



12 在宅医療・介護 ～ 指標の進捗状況 ～

	指標	基準値 (R2年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値
(1)	退院支援を実施している病院・診療所数	76	80						112	B	－
	指標	基準値 (R5年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
(2)	在宅療養支援病院数	39	39						57	C	－
	在宅療養支援診療所数	106	105						122	D	－
	指標	基準値 (R2年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値
(3)	訪問診療を実施している病院・診療所数	185	173						195	D	－
	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値 (R6年)
(4)	在宅歯科診療を行っている歯科医療機関の割合	27.3%	30.6%						40%	B	－
	指標	基準値 (R5年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
(5)	麻薬(持続注射療法を含む)の調剤及び訪問薬剤管理指導を実施できる薬局数	24	39						40	B	－
	指標	基準値 (R5年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
(6)	無菌製剤の調剤及び訪問薬剤管理指導を実施できる薬局数	44	59						60	B	－
	指標	基準値 (R3年度)	R6 (R5年度)	R7 (R6年度)	R8 (R7年度)	R9 (R8年度)	R10 (R9年度)	R11 (R10年度)	目標値	評価	全国値
(7)	24時間対応体制加算の届出訪問看護ステーション数	132	165						180	B	－
	指標	基準値 (R3年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値
(8)	緊急時訪問看護加算の届出訪問看護ステーション数	132	175						180	B	－
	指標	基準値 (R4年度)	R6 (R6年度)	R7 (R7年度)	R8 (R8年度)	R9 (R9年度)	R10 (R10年度)	R11 (R11年度)	目標値	評価	全国値 (R6年度)
(9)	在宅での死亡率	28.4%	30.4%						40%	B	32.7%

※評価 A：目標達成 B：改善 C：現状維持 D：悪化 －：評価不可



# 12 在宅医療・介護 ～ 令和6年度の主な取組 ～

## 在宅医療提供・連携体制の構築、普及啓発

### 【主な担当課】

長寿介護課

医療・介護連携推進室

医療政策課

健康増進課

薬務感染症対策課

障がい福祉課

### (1) 在宅医療提供体制の確保

- ・在宅歯科医療に係る機器整備補助 14施設
- ・訪問看護事業所の新設等の整備補助 13施設
- ・在宅医療・介護連携推進事業市町村担当者等研修会 1回
- ・在宅医療・介護連携に取り組む市町村への補助 1市町村

### (2) 在宅医療を支える人材の育成・確保

- ・医師等の多職種を対象とした研修会 41回(3,460人)
- ・訪問看護未経験者研修会 7回(67人)
- ・訪問看護スキルアップ研修会  
管理者研修 1回(14人)、フォローアップ研修 1回(9人)
- ・無菌調剤技術研修 4回(34人)



### (3) 医療的ケア児等の在宅支援体制の強化【再掲】

- ・受入に必要な施設・設備整備費の補助 10事業所
- ・医療的ケア児支援センター相談件数 96件
- ・コーディネーター養成研修 45人

### (4) 在宅医療に関する普及啓発

- ・アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の普及啓発  
普及啓発動画の作成及び配信  
実践報告会(専門職向け研修) 1回(54人)

など

